

「小・中学校等における各教科等の指導と自立活動の指導を関連させた授業づくりの充実」 ～授業づくりシートの活用による研修効果の検証～

現状と課題

- 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示）において、「**各教科の指導に当たっては、特に自立活動における時間の指導との密接な関連を保ち、学習効果を一層高めるようにすること。**」が示されている。
- 各教科等の指導と自立活動の指導を密接に関連させるためには、**肢体不自由のある児童生徒の学習特性を踏まえた実態把握を十分に行うことが重要**である。

目的

- 「授業づくりシートⅠ・Ⅱ」を活用することにより、肢体不自由のある児童生徒の**学習特性を踏まえた実態把握から具体的な指導内容を設定するための考え方の流れについて理解を深めることができ、各教科等における学習上の困難を把握し、自立活動の指導目標及び指導内容と適切に結び付けることができるか検討**する。

方法

- 研究協力校において、「授業づくりシートⅠ・Ⅱ」を活用し、授業づくりの改善を図る。
- 「授業づくりシートⅠ・Ⅱ」の活用前と活用後の児童生徒の授業に対する評価や、学級担任の指導目標及び指導内容を設定する上で意識することができたことについての評価を行うことにより、「授業づくりシートⅠ・Ⅱ」の効果を検証する。

事例対象者 学年：小学校第3学年 障がい名：脳性まひ 教科：算数科 教育課程：準ずる教育課程

1. アンケートの実施（「授業づくりシートⅠ・Ⅱ」活用前）

事例対象児童が、算数科の授業について、「授業内容がよく分かる」、「先生の説明はよく分かる」など、11項目について4段階で評価

学級担任が、授業づくりについて、「肢体不自由のある児童の学習特性を踏まえた実態把握から具体的な指導内容を設定することができたか」など、20項目について4段階で評価

質問事項	そう思う	だいたいそう思う	あまりそうとは思わない	そうとは思わない
1 授業の内容がよく分かる	4	3	2	1
2 授業の中で、自分の意見や考えを伝えることができる	4	3	2	1
3 教科書や板書の文字は見やすい	4	3	2	1
4 授業中に必要なことをノートに書き写したり、記録したりすることができる	4	3	2	1
5 先生の説明はよく分かる	4	3	2	1

質問事項	そう思う	だいたいそう思う	あまりそうとは思わない	そうとは思わない
1 実態把握から具体的な指導目標や指導内容を設定することができた	4	3	2	1
2 各教科等における学習上の困難を把握し、自立活動の指導目標及び指導内容と適切に結び付けることができた	4	3	2	1
3 学ぶことに興味や関心を持たせることができた	4	3	2	1
4 主体的な学び チャリア形成の方向性ト関連付けることができた	4	3	2	1

【授業についてアンケート（児童生徒用）】

【授業についてアンケート（教職員用）】

実践事例

2. 「授業づくりシートⅠ・Ⅱ」の活用

※昨年度の教育室研究のポスターにて報告

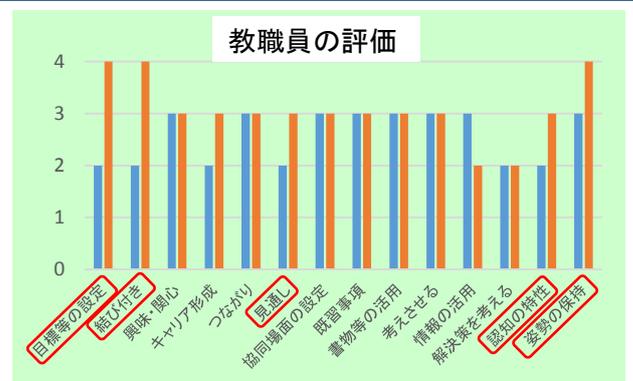
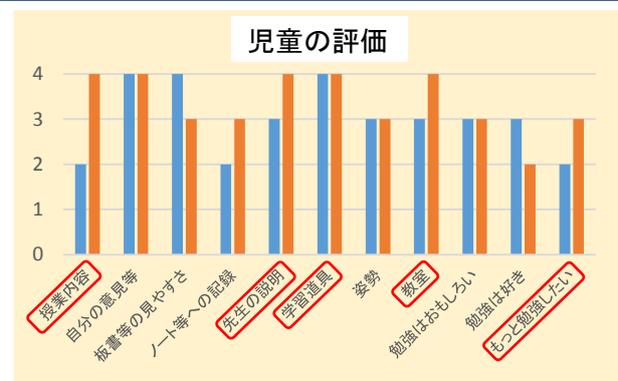
「授業づくりシートⅠ」で絞り込まれた中心課題となる**学習特性の把握**

「授業づくりシートⅡ」で自立活動の指導目標及び内容を見直し、授業内容等の改善を図る

【授業づくりシートⅠ】

3. 「授業づくりシート」活用前後の評価

< …シート活用前 ■ …シート活用後 >



今後の方向性

- 「授業づくりシートⅠ・Ⅱ」の活用により、肢体不自由のある児童生徒の学習特性を把握し、実態把握から具体的な指導内容を設定するための考え方の流れについての理解を深めることを通して、教科等と自立活動の指導目標及び指導内容と適切に結び付けることができた。
- 「授業づくりシートⅠ・Ⅱ」による授業改善により、児童の「学びやすさ」等を向上させることができた。
- 「授業づくりシートⅠ・Ⅱ」活用のためのリーフレットを作成し、成果を教員に還元する。